

岡山大学国際同窓会

OKAYAMA UNIVERSITY
INTERNATIONAL ALUMNI ASSOCIATION (OUIAA)



OKAYAMA
UNIVERSITY

NEWSLETTER VOL.15 2021年1月

世界への扉を開く

目次

会長挨拶	1	岡山大学国際同窓会第10回総会報告	3
副会長挨拶	2	岡山大学ニュース	
岡山大学のCOVID-19関連の取組状況		海外における新しい生活様式について	4
岡山大学ホームカミングデイ2019関連行事報告		事務局より	



会長挨拶



私は岡山大学国際同窓会(OUIAA)の会長に2019年に就任しました。2019年の終わりには新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が出現し、世界に広がりしました。2020年11月には6,100万人以上が感染し、150万人もの人が亡くなっています。この数字は現在も急速に増えていますが、まだこの感染症根絶の目途はたっていません。このパンデ

ミックにより、世界の医療体制は試され、世界の多くの国における準備不足を露呈しています。先進国も例外でなく、罹患率や死亡率の点で、低所得国以上に苦しんでいます。世界中の多数のイベントが中止または延期になっています。岡山大学国際同窓会総会も2020年10月に開催の予定でしたが、延期せざるを得なくなりました。こうしたことは、岡山大学国際同窓会の設立以来、例をみない状況です。

岡山大学国際同窓会総会を2021年の1月に延期せざるを得ないのは非常に残念です。支部における重要事項等を協議できるよう、1月上旬にオンライン会議が予定されています。私は同窓生は岡山大学留学時に培った研究について広めるように努めるべきであると強調したいと思います。岡山大学は世界の科学界において広く知られるべきですし、そのためにも皆さん一人ひとりが岡山大学の「大使」として、皆さんの国で行動するべきです。皆さんは岡山大学において、すばらしい研究を実施された優秀な方々ですので、ぜひお願い

岡山大学国際同窓会会長 Myo Khin

したいです。

医療関係者として、私は少し注意点を付け加えたいと思います。来年、新型コロナウイルスのワクチンが利用できるようになるかもしれませんが、政府は配付の優先順位を付けざるを得ないかもしれません。すべての人が利用できるとは限りません。そのため、私たちはワクチンが広く普及するようになるまで自分自身で気を付けなければなりません。新型コロナウイルスが広まって既に1年近く経っていますので、科学界は新型コロナウイルス感染症の基本的な事項、すなわち病気の特徴や一般的にどのように伝染するか、また考えられる結果の概要をまとめています。私たち一人ひとりがこれらの情報に基づいて、生活することがとても大切です。注意して、油断しないことが非常に重要です。

最後に私は同窓生の皆さんに「3つのC」(換気の悪い密閉空間 (Confined and enclosed spaces with poor ventilation)、密集 (Crowded places)、密接 (Close-contact settings)) を避け、「3つのW」(マスクを着け (Wear your mask)、距離をとり (Watch your distance)、手洗いを行う (Wash your hands)) を実施するよう、もう一度注意を促したいと思います。皆さんが今後も心身ともに健康で、新型コロナウイルス感染症を乗り越えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

※2020年11月寄稿。原文からの翻訳は岡山大学国際同窓会事務局によるものです。
正確な表現については、英語版をご参照ください。

副会長挨拶



岡山大学国際同窓会役員の郭艶萍です。2019年4月から国際同窓会副会長を拝命し、国際同窓会事務局の皆様をはじめ、同窓会会員皆様のご協力をいただき、この2年間、務めさせて頂いております。この場をお借りして心より感謝の意を表したいと思います。

岡山大学国際同窓会は2011年に設立されてから、既に9周年を迎えました。この間、世界において55箇所の支部及び通信拠点が大きく発展してきましたおかげで、世界各地にいらっしゃる同窓生の皆様をネットワークで繋ぐことができました。

岡山大学国際同窓会副会長 郭 艶萍

2020年はあと1ヶ月で終わりますが、年頭から突然発生した新型コロナウイルス感染症が猛烈な勢いで世界中に蔓延しており、日常生活に多大な影響をもたらしてきました。このような中、各地にいらっしゃる会員の皆様におかれましては、各自の状況を踏まえ、お元気でご活躍のことと拝察いたします。これからも新型コロナウイルス感染症に気をつけつつ、皆様がそれぞれの場でご活躍されますようお祈りいたします。

同窓生の皆様、手を繋いで、輪を作って母校岡山大学のこれからの発展のために一緒に頑張りましょう！

※2020年11月寄稿。

岡山大学のCOVID-19関連の取組状況



2020年は未曾有の新型コロナウイルスによる感染症が全世界を襲い、未だに感染は拡大し続けています。このような状況では国境を跨いだ自由な人の往来はできず、本学においても、国際交流プログラムの多くを中止せざるを得ませんでした。国際同窓会支部におかれましては、各国での感染状況や生活の様子に関する情報をお寄せ頂き、ありがとうございました。国際交流活動の参考にさせて頂きました。交流が分断されて孤立しがちになるパンデミックな状況においては、これまで以上に国境を越えた人々の交流が大切であると考え、新し

岡山大学副学長（国際担当） 木村 邦生

い取り組みとしてリモート技術を駆使したバーチャルな国際交流プログラムを実施しております。一方で、留学生の生活が困窮して来ており、本学としても修学支援はもとより、経済的な支援も行ってきました。加えて、岡山大学Alumni、地元企業や団体など多くの皆様方からも心温まる経済支援や食糧支援を頂戴し、厚く御礼申し上げます。日本では、10月になってから留学生の早期入国が開始され、少しずつですが留学生の受入が始まっています。新型コロナ感染症の終息はまだ先になりそうですが、終息後の新しい世界の中で活発な国際交流を展開して参ります。ご支援とご協力をお願い致します。

岡山大学ホームカミングデイ2019関連行事報告

国際同窓会では、ホームカミングデイ2019に際し、10月25日（金）に岡山大学南福利施設（ピーチユニオン）にて、国際同窓会第9回総会を開催しました。

総会の開催に際し、最初に榎野博史岡山大学長及び小長啓一岡山大学Alumni（全学同窓会）会長にご挨拶をいただきました。今回の総会では、国際同窓会会則の改正及び新しい役員の選任について審

議され、案のとおり了承されました。新しい国際同窓会長には、ミヤンマー支部長のミョーキン氏が就任されることになりました。

総会に引き続き開催した情報交換会には、国際同窓会会員や本学教職員、教職員OB等約45名が出席し、活発な意見交換・情報交換が行われました。



【参考：国際同窓会支部代表者の来学に関する新着ニュースへのリンク】 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8876.html

海外における新しい生活様式について

【インドネシアより】

インドネシアにおける新型コロナウイルス感染症にかかる状況は、他の国と変わりありません。政府は市民の活動に一定の制限を設けています。ほとんどの活動は、在宅で行わなければなりませんし、公共の場においては、全員マスクを着用しなければなりません。感染が拡大してから最初の3カ月間は、食料品を提供するお店や市場を除き、ほぼ全ての公共施設が閉鎖されました。2020年7月にオフィスや公共の場は、制限付きで再開されました。学校においては、様々なプラットフォームを利用したオンライン学習が導入されました。大学においては、最終学年の学生のみ、厳格な手続きの下、午前9時から午後3時までの間に限り、大学構内での活動が許可されています。在宅勤務は、オフィスでの勤務に比べ、作業量が少なくとも2倍に増えており、想像していたよりも大変です。現在のところ、政府は2020年12月まで在宅勤務を課す予定です。一日も早くこのパンデミックが終息するよう願っています。

インドネシア支部長 Andi Salamah

※2020年10月寄稿。原文からの翻訳は岡山大学国際同窓会事務局によるものです。
正確な表現については英語版をご参照ください。



【米国 ウィスコンシン州より】

ウィスコンシン州は、米国中西部、シカゴの北に位置しております。今年の秋は「大統領選の激戦州のひとつ」としておよび「Black Lives Matterに関する事件やデモ」など、日本のニュースでご覧になられた方も多くいらっしゃったのではないかと存じます。米国ではコロナ感染者が世界最多となっておりますが、「自由」を求める国民性に加えて、大統領選のための集会などの様々な事情により、コロナの拡大に歯止めがかかっていないように思います。今年の春に第一波が参りましたが、現在は冬の到来もありまして一日当たりの新規感染者数は春の10倍以上に増えております。州内では、春にニューヨーク市で用意されたように急造の「野戦病院」が現在設置され稼働しております。日常生活では、州政府もしくは市レベルでのオーダー（命令）により、屋内でのマスクの着用などが細かく決められています。マスク着用派が多数ではありますが、マスク反対派は意外とたくさんいます。いまだに「コロナはでっちあげだ」と信じている人も実際にいます。私は大学病院勤務ですが、リモート

ワークに関しましては、大学、病院内の会議（症例検討会や学生の症例発表なども含めて）は春以来すべてオンラインになりました。州内の大半は北海道のように畑や牧場が広がっておりますので日常で治安上危険を感じることはありませんが、大統領選前後には都市部ではデモが頻回にありました。おおむね平和的なデモですが、市街地の商店は窓ガラスをベニア板で覆ったりしています。春には国外を含めた州外への不要不急の外出は大学から禁止されておりましたが、現在は解除されております。州内での自己隔離のルールはありませんが、現在ウィスコンシン州はニューヨーク州やシカゴ市などから感染地域に指定されておりますので、当州内からそれらの都市を訪問した場合は、2週間の自己隔離が必要になります。コロナが早く終息に向かうことを切に祈っております。

ウィスコンシン通信拠点長 甲元 拓志

※2020年11月寄稿。

事務局より

事務局からのお願い

- ◆ 各支部の活動状況などを国際同窓会事務局までお寄せください。ホームページ等でご紹介させていただきます。
- ◆ ご住所やご連絡先等、ご登録いただいている会員情報に変更のある場合は、速やかに国際同窓会事務局までご連絡ください。皆様のご協力をお願い申し上げます。

岡山大学国際同窓会

〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学国際同窓会事務局（岡山大学国際部）

Email: ouiaa@adm.okayama-u.ac.jp



URL : <http://alumni.ouic.okayama-u.ac.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/OUIInternationalAlumniAssociation>

岡山大学国際同窓会

OKAYAMA UNIVERSITY
INTERNATIONAL ALUMNI ASSOCIATION (OUIAA)



OKAYAMA
UNIVERSITY

NEWSLETTER VOL.15 JANUARY, 2021

世界への扉を開く

Contents

Message from the Chairperson	1	The 10th General Meeting of OUIAA	4
Message from the Vice-chairperson	2	News from Okayama University	4
Okayama University's response to the COVID-19 Pandemic	3	The New Normal	5
Report on events of the Okayama University Homecoming Day 2019	3	From the Secretariat	



Message from the Chairperson

Myo Khin, Chairperson, Okayama University International Alumni Association



I took office as Chairperson of the Okayama University International Alumni Association (OUIAA) in 2019. At the end of 2019, the novel coronavirus commonly known as COVID-19 emerged and began to spread very rapidly throughout the world.

In November 2020, there were more than 61 million cases and over 1.5 million deaths. The figures are still increasing rapidly with very limited hopes of eradicating this virus. The pandemic has tested the global health system, exposing the unpreparedness of many countries across the globe. Developed countries are of no exception, suffering no less than lower-and-mid income countries in terms of morbidity and mortality. Numerous events scheduled around the globe have been either cancelled or postponed. The General Meeting of the OUIAA, which was scheduled for October of 2020, is no exception and had to be

postponed as well. We have never experienced difficulty on this level since OUIAA was established, and it is with profound disappointment that that we have had to announce the postponement of the OUIAA General Meeting to 2021 January. A virtual meeting will be organized in early January so that our Alumni Branch offices will have a chance to discuss important issues that need attention. I would like to emphasize that all alumni should try to move forward with the work carried out during your years of study at Okayama University. Okayama University should be well-known in the global scientific community, and in this respect you all should act as ambassadors of Okayama University in your countries. I have no doubts as to your capabilities, as you all have gone through a well-organized study plan during your time at Okayama University.

As a medical person I would like to add a few words of caution. While the coronavirus vaccine might be available in the coming

year, it might not be available to everyone, as governments have to prioritize who will get it first. For this reason our alumni need to rely on themselves until this vaccine becomes widely available. Since COVID-19 has been with us for nearly a year, the scientific community has outlined the basic facts about the virus: the characteristics of the disease, how it is commonly transmitted, and possible outcomes. It is very important for everyone to live in accordance with these facts, and to be cautious and vigilant. Finally,

I would like to remind alumni to avoid the 3Cs; Confined and enclosed spaces with poor ventilation, Crowded places, and Close-contact settings, as well as to follow the 3Ws; Wear your mask (or shield), Watch your distance, and Wash your hands. I would like to wish all of you the best of physical and mental health and the strength to overcome the COVID-19 in the coming years.

Note) Contributed in November 2020.

Message from the Vice-chairperson

Guo Yanping, Vice-chairperson, Okayama University International Alumni Association



My name is Guo Yanping, executive at the Okayama University International Alumni Association (OUIAA). In April 2019, I was appointed Vice-chairperson of the OUIAA. For nearly two years since then, I have performed my duties with the solid support and cooperation of the OUIAA Secretariat and OUIAA members. I would like to take this opportunity to express my heartfelt thanks to everyone.

The OUIAA was established in 2011, celebrating its ninth anniversary this year. Over the past nine years, the OUIAA network has grown extensively to a total of 55 branches and communication

bases across the globe, connecting alumni around the world with each other and with their alma mater.

The year 2020 will be over in a month, but since the beginning of this year, COVID-19 has spread throughout the world at breakneck speed, and our daily lives have been significantly impacted in so many ways. Although it has been a challenging time for us all, I trust that OUIAA members around the world will stay healthy and remain active in their careers despite the pandemic. Please take care of yourself in every way so as to avoid being infected with COVID-19. I wish you all good health and continued success.

As alumni, let's work together for the further development of our alma mater, Okayama University!

Note) Contributed in November 2020. The original text is in Japanese.

Okayama University's response to the COVID-19 Pandemic

Kimura Kunio, Vice President for International Affairs



The entire world was seized with the unprecedented coronavirus (COVID-19) epidemic in 2020, and the resultant pandemic is not over yet. Cross-border travel is strictly controlled due to the prevention of the COVID-19 infection. Under these circumstances, Okayama University had no choice but to discontinue most of its international exchange programs. Many branches of OUIAA sent us a great deal of information on preventive measures and daily life in each relevant country, and we deeply appreciate this. The information has been tremendously helpful to us in considering the details of our international exchange programs. As became extremely clear when world communities were segmented by COVID-19, better cooperation and solid connections to each other are indispensable in overcoming feelings of confinement and isolation. It was in this connection that we launched an online

program as a new model for international exchange amidst the circumstance of the pandemic. Meanwhile, to help with the severe daily life problems of our students from other countries, Okayama University provides economic assistance as well as support for studies. Okayama University Alumni, along with companies and groups, have also offered a variety of heartwarming additional support including economic and food aid. I would like to express my sincere appreciation for this. The Japanese government began admitting foreign students again in October 2020 after relaxing steps to prevent the spread of COVID-19, since which time students have begun to gradually come to Okayama University from other countries. It may take a little more time to end the COVID-19 pandemic, but in the meantime we will continue to develop new styles of international exchange, and further move toward globalization, with the aid of ICT technology. Thank you for your support always.

Report on events of the Okayama University Homecoming Day 2019

The Okayama University International Alumni Association (OUIAA) held the 9th General Meeting on Friday, October 25 at the Okayama University South Facility for Student Welfare (Peach Union) on the occasion of the Okayama University Homecoming Day 2019.

Dr. MAKINO Hirofumi, the President of Okayama University and Mr. KONAGA Keiichi, the Chair of Alumni Okayama University, gave us a short speech at the beginning of the General Meeting. We deliberated on the draft of the amendments to the rules of OUIAA

and also the election of Executives. Each agenda was approved after careful deliberation. Dr. Myo Khin, the Director of Myanmar Branch, was elected as new Chairperson of OUIAA.

An information-sharing session was followed after the General Meeting. About 45 people, including OUIAA members and current as well as former faculty, attended the session. They made the best use of this opportunity to share information and opinion.



【FYI: Link to the "News & Events" regarding the visit of the representatives of OUIAA Branches.】 http://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id8948.html

The 10th General Meeting of OUIAA

Okayama University International Alumni Association (OUIAA) held its 10th General Meeting online on Thursday, January 7, 2021 due to COVID-19.

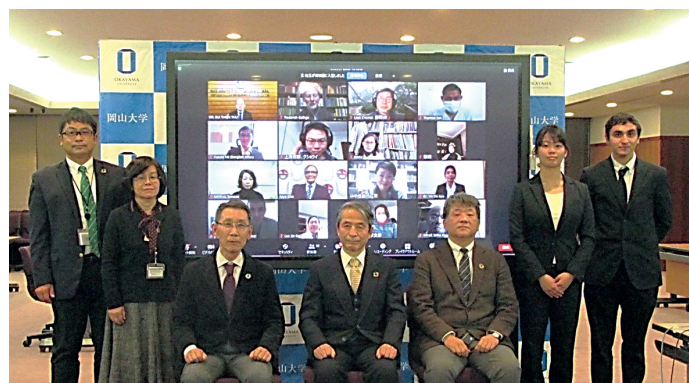
After the opening remarks given by Dr. Myo Khin, Chairperson of OUIAA, President MAKINO Hirofumi, Okayama University, delivered a short speech. Then the guests of honor, Dr. Utak Chung and Dr. Bui Thien Thu, who were newly appointed as Project Professors of Institute of Global Human Resource Development, Okayama University, gave a few words to those present.

In his speech to the attendees, Dr. Utak Chung proposed some ideas to promote SDGs. Dr. Bui Thien Thu talked about his ties with Okayama University. They both stated that they would like to continue to cooperate with the activities of Okayama University as Project Professors.

This year, two students participated in the meeting as interpreters. After deliberation regarding the appointment of Executives, the newly appointed Project Professors and Special Ambassadors of Institute of Global Human Resource Development were introduced to the attendees. Three representatives from the OUIAA branches (Prof. Guo Yanping, Director of Changchun Branch, China, Dr. Anna Dzienis, Director of Poland Branch, Dr. Willis Owino, Vice-director of Kenya Branch) reported on the current situation regarding COVID-19 in their respective country and the participants of the meeting

actively exchanged information.

The General Meeting was closed with a speech by Prof. SANO Hiroshi, Executive Director for Academic Affairs and Provost, Okayama University. This was the first time that the General Meeting was held online and was attended by many members of OUIAA from all over the world, strengthening the partnership among Okayama University and the OUIAA branches.



※ Participants (20 people from 12 branches)

Shanghai Branch (1), Changchun Branch (3), Dhaka Branch (1), Central China Branch (4), Pusan Branch (1), Beijing Branch (1), Dalian Branch (1), Egypt Branch (1), Myanmar Branch (1), Kenya Branch (1), Poland Branch (1), Mandalay Branch (4)

※ Total number of participants: Approximately 40 people (incl. Guests of Honor and attendees from Okayama University)

News from Okayama University



OU and UNCTAD signed a comprehensive Memorandum of Understanding (MoU).
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9165.html



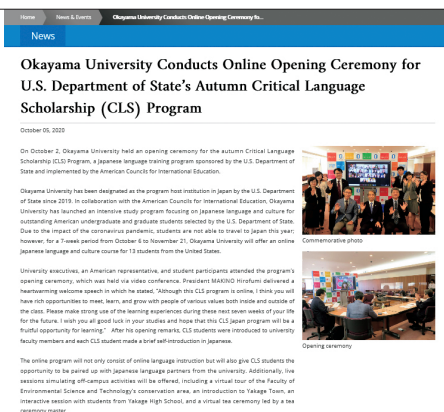
OU opens a Study in Japan Global Network Project Regional Office in ASEAN, Bangkok Branch.
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9178.html



Japan Alumni Reunion 2020 & Farewell for the Japanese Government
Scholarship Students Held in Myanmar.
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9422.html



OU ranks 9th nationally in the Times Higher Education Impact Rankings 2020 !
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9423.html



Okayama University Conducts Online Opening Ceremony for U.S.
Department of State's Autumn Critical Language Scholarship (CLS) Program.
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9751.html



Opening Ceremony Held for Six National University Network.
(SUN) Surabaya Office of SixERS in Indonesia.
https://www.okayama-u.ac.jp/eng/news/index_id9934.html

The New Normal

[From Indonesia]

The situation of the Covid-19 pandemic in Indonesia is no different from that in other countries. The government imposes restrictions on citizens' activity. Most activity should be carried out from home, and everyone must wear a mask in public. In the first three months of the pandemic, almost all public facilities were closed, except for shops or markets that provide daily food. Offices and public areas reopened in July 2020 with restrictions. Schools implemented online learning using various online platforms. Only the final year students are allowed to work at the University, but only with rigorous protocols, including a limited time period of 9 am to 3 pm. Working from home is not as comfortable as some may have imagined due to increased workload, which is at least twice that of working in an office. So far, the government will ask people to work from home as much as possible through December 2020. It is my hope that the pandemic will end soon.

Andi Salamah, Director, Indonesia Branch

(Note) Contributed in October, 2020



[From Wisconsin, USA]

This is a report from Milwaukee, Wisconsin, which is about 90 minutes north of Chicago. Wisconsin was often featured on the TV news in Japan this year, because we were a swing state during the Presidential election, and also for a series of Black Lives Matter (BLM) events. As you know, the United States has the largest number of COVID-19 infections in the world, and with the onset of winter, the number of infections in Wisconsin has increased more than 10 times compared to the first wave in the spring of 2020. In Milwaukee, which is the largest city in Wisconsin, the state government has opened a field hospital in the state park, similar to the scenario in New York City this spring. State government or city officials can order people to stay at home or wear masks, but there still are quite many people who fight against these restrictions and refuse to wear masks. Indeed, there still are people who claim COVID-19 is a hoax. I am currently working at a medical college, and since this spring, all meetings (including patient case conferences and student presentations) are virtual, with in-person sessions severely restricted.

Wisconsin is known America's Dairy Land (for its production of milk products such as cheese and yogurt), and most of Wisconsin is farms and ranches. It is generally safe here, but there were (mostly peaceful) demonstrations, and because of this many downtown stores covered their windows with wooden boards. In the spring, universities and colleges prohibited faculty from traveling outside the state of Wisconsin, and though these rules have since been relaxed, out-of-state travel is still not encouraged. On the other hand, Wisconsin is currently considered a high-risk area for COVID-19 by the state of New York and the city of Chicago, and if we travel to these places, self-quarantine for 14 days is mandatory. We sincerely hope COVID-19 will be under control very soon, and wish you all a happy and safe New Year 2021!

Takushi Kohmoto, Director, Wisconsin Communication Base

(Note) Contributed in November, 2020

From the Secretariat

- ◆ Please send information about your branch activities to the Secretariat so that we can share it on the OUIAA website.
- ◆ Please report to the Secretariat if there are any changes in your personal information such as your address and/or your contact details. We appreciate your kind cooperation.

Okayama University International Alumni Association (OUIAA)

2-1-1 Tsushima-naka, Kita-ku, Okayama 700-8530 JAPAN

Contact: Secretariat of OUIAA
(International Affairs Department, Okayama University)
Email: ouiiaa@adm.okayama-u.ac.jp

URL : <http://alumni.ouiic.okayama-u.ac.jp/>

Facebook : <https://www.facebook.com/OUInternationalAlumniAssociation>

